

清掃工場で可燃ごみを焼却処理すると、主灰と飛灰が発生します。熔融処理によりスラグ化するものを除いた主灰と薬剤処理した飛灰は、東京都が設置・管理する新海面処分場で埋立処分しています。しかし、今後、新たに東京港内に最終処分場を確保することは極めて困難です。

清掃一組では埋立処分量の削減及び資源の有効利用を目的として、平成25年度から主灰のセメント原料化について実証確認を行ってきました。この結果、安全で安定的に実施することが確認されたことから、平成27年度から本格実施しています。

平成30年4月19日（木曜日）、清掃一組議会が、青森県八戸市内のセメント工場を視察しました。

今回の視察は、主灰のセメント原料化施設であるセメント工場や、セメントの原料となる石灰石採掘現場の調査を目的に行われました。

視察団は、まず、八戸市議会を表敬訪問しました。八戸市議会からは、市議会の概要などの説明があり、意見交換を行いました。

次に港頭一般焼却灰選別保管庫へ向かいました。ここでは、清掃一組（大田清掃工場）から排出された主灰の搬入状況などを確認しました。

引き続き、セメント工場へ移動し、セメント会社から、会社の歴史、環境に対する取組、搬入された主灰の活用などの説明を受け、予熱装置や焼成炉等を視察し、セメントの需要量や清掃一組の主灰の性状等について意見交換を行いました。

翌日、4月20日（金曜日）には、セメントの原料となる石灰石の採掘会社へ向かいました。採掘会社では、会社の概要、施設の状況などの説明を受けた後、実際の採掘場などの視察を行いました。

◎議会事務局電話03（5210）9729

平成28年4月21日（木曜日）、清掃一組議会が、青森県八戸市内のセメント工場を視察しました。

清掃工場で可燃ごみを焼却処理すると、主灰と飛灰が発生します。熔融処理によりスラグ化するものを除いた主灰と薬剤処理した飛灰は、東京都が設置・管理する新海面処分場で埋立処分しています。しかし、今後、新たに東京港内に最終処分場を確保することは極めて困難です。

清掃一組では埋立処分量の削減及び資源の有効利用を目的として、平成25年度から主灰のセメント原料化について実証確認を行ってきました。この結果、安全で安定的に実施することが確認されたことから、平成27年度から本格実施することとしました。

今回の視察は、主灰のセメント原料化施設であるセメント工場や、貨物輸送などの調査を目的に行われました。

視察団は、まず、八戸市議会を表敬訪問しました。八戸市議会からは、市議会の概要などの説明があり、意見交換を行いました。

続いて一行は、八戸リサイクルポートの港頭保管庫へ向かいました。ここでは、セメント原料の保管状況などを視察しました。

その後、八戸市内のセメント工場へ行きました。工場見学室では、セメント会社から、会社の歴史、環境に対する取組、搬入された主灰の活用などの説明を受けました。続いて、工場内リサイクル原材置場では、車両から主灰の荷卸しの状況を、また、セメント工場の各設備の運転操作や監視を行う中央操作室などを視察しました。翌日、4月22日（金曜日）には、搬出された主灰が鉄道貨物として到着する、JR貨物八戸貨物駅へ向かいました。

清掃一組の清掃工場から搬出された主灰は、専用コンテナに入れられ、貨物自動車から鉄道貨物へ、さらに到着駅からは貨物自動車とリレーされ、セメント工場へと到着します。

貨物駅では、鉄道コンテナ輸送の仕組みなどの説明を受けながら、コンテナホーム、構内などを視察しました。

現地視察を通して、一組議員からは、「実際のセメント工場、貨物駅などを視察し、主灰が有効に活用されている様子がわかり、たいへん有意義だった。」などの声がありました

◎議会事務局電話（5210）9729

◎施設管理部管理課電話（6238）0716